

豚の人工授精(AI)について

豚の人工授精には、下のような多くのメリットがありますが、規模拡大や一貫経営の増加に伴い普及率は向上しているものの、まだまだ定着していません。

繁殖作業の省力化

種豚の改良

疾病の蔓延防止

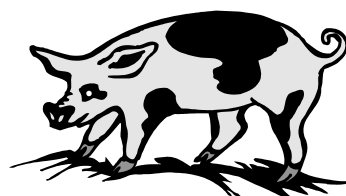
高品質・斉一性のある肉豚の生産

生産コスト低減

受胎率の向上

最近の消費者ニーズである「安くて安全でおいしい豚肉」を考えた時、高品質の豚肉を低コストで生産することが最も重要であり、そのための1つの方法として人工授精の利用が挙げられます。すべてが人工授精でなくても、自然交配と人工授精を組み合わせることにより、かなりの効果が期待できます。さらに、夏季の受胎率低下も人工授精を複数回行うことにより抑えることができます。

畜産試験場では、毎年県内養豚経営者に実践的な人工授精の技術を習得していただくため、講習会を開いています。今年も以下の日程で講習会を行う予定です。希望される方はぜひ参加して下さい。



平成13年度 豚人工授精技術講習会

講義：10/19(金) 10:00～12:00

実習：第1班 10/22(月)～26(金) 13:00～15:00

第2班 10/29(月)～11/2(金) 13:00～15:00

申込方法：受講申込書を住所地の市町村に提出して下さい

(申込書は市役所、町村役場にありますが、御不明の点は市町村、農業振興事務所、家畜保健衛生所または畜産試験場に御照会下さい)

申込締切日：10/9(火)

(中小家畜研究室 小池達也)



畜産試験場だより No.19
平成13年9月1日 発行

栃木県畜産試験場

〒321-3303

芳賀町稲毛田 1917 028-677-0301